

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 11月30日実施

事業所名 出雲サンホーム地域福祉サービスセンターソレイユ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		・デイのご利用者と一緒に過ごせる。	・平日は良いが、一日利用の時等、者と共有スペースとなる為、過ぎの場の工夫が必要。 ・広く動き回れるが、目が行き届かない。
	2 職員の配置数は適切である	5				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		1	・月1回の支援会議が主となるが、スタッフ間で情報共有を行い、日々の細かい内容については、共有ノートを活用している。 ・月に一度会議の場を設け、情報共有し問題点等あれば改善できるよう、話し合いを行っている。 ・月一回の支援会議を行い、個々の療育の振り返りや、支援方法を確認している。 ・全職員で支援会議を行い、その際に目標設定と振り返り等共有している。	・支援会議、ミーティング等を活用し対応している。他の事業等の対応も参考にする等の配慮は必要。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		1	・頂いたご意見を職員間で共有し、サービスの質の向上に取り組んでいる。	・アンケートが行われているが、ご家族の意向など改善に繋がっているか分からない。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	1		・外部評価は導入していない。現状予定もしていない。ボランティア、地域の来所者等、外部の目は必要。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		1	・可能な限りでオンライン研修に参加している。 ・所内研修などはなるべく多くのスタッフが参加できるように、都度調整を図っている。 ・オンライン研修を取り入れている。	・他施設の支援のあり方や、放デイの情報を知る機会があると、知識が広がると思う。 ・所外研修への参加や、他事業所への見学などが出来ると良い。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・アセスメント用紙を用いて聞き取りを行っている。聞き取りが不十分な場合は更に時間を設けている。 ・ご家族や関係機関、そして日々関わる支援スタッフとの情報共有を図りながら、アセスメントを実施し、評価、計画作成に取り組んでいる。	
適切な 支援の 提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			・ソレイユ独自の物を作成し使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・時間をとって活動の組み立てを行っている。 ・支援会議や話し合いの時間を活用し、スタッフ間で意見交換しながら立案している。 ・活動計画の時間を設けてもらい、内容を考えると共に、個々の能力を活かせるかの検討も行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		2	・個々の状態に応じた活動内容も都度話し合いながら、検討、実施している。 ・以前に作ったものがないものを取り入れている。	・もう少しニーズや特性に合わせたプログラムを検討しても良いと思う。 ・季節の活動を取り入れたり、全児童が様々な形で参加できるようなものを考え、やり方の工夫が必要。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		2	・活動以外に安全に安心して過ごせるよう工夫している。 ・長期休暇等全体でひとつの作品を作る時も、役割が誰にも行きわたるように工夫している。	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成して いる	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状態に応じて、様々な活動を組み 合わせ、計画に反映している。</li> <li>・全員で行う活動は出来るが、個々でできる 事が違うので、役割を持てるようにしたり、 集団行動が出来るように働きかけている。</li> <li>・障がい児だけでなく、デイサービスご利用 者等多世代との交流が図れる。</li> </ul>	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合 せをし、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認してい る	3		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援開始前にはご利用時の状況を確認 し、状態に応じた支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせの時間の確保が難しく、十分に 打ち合わせが出来ていない時もある。</li> <li>・その日に行う事は前もって伝えあっている が、細かなところまでの打ち合わせは出来て いない。</li> <li>・活動は大まかに決めてある時と、そうでない 時があり、打ち合わせも直前になりがちの 為、早めに行うようにしている。</li> </ul>
	16	支援終了後には、職員間で必ず打 合せをし、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共 有している	3		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずとは言えないが、その時の様子は記 録や口頭で共有するようにしている。</li> <li>・支援終了後は、支援の振り返りも必ず行っ ている。</li> <li>・放デイ共有ノートがあり、必要事項は書き 込み伝達し、急な要件や困った事案につい ては即申し送りをしている。</li> <li>・当日に出来なくても、ノートや申し送りを活 用しながら、情報共有を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気が付いた時などは行えているが、時間に 余裕がない時は、その日に行えない事がある。</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録をと ることを徹底し、支援の検証・改善 につなげている	5		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月々で目標設定し、日々の様子を記録し評 価しながら活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録は行っているが、支援の検討、改善ま では出来ていない事もある。</li> </ul>
	18	定期的モニタリングを行い、放課 後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断している	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一回モニタリングを実施。ご家族や 関係機関からの情報、スタッフ間の振り返り を行い、次の支援に繋げられるよう努めてい る。</li> </ul>	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複 数組み合わせさせて支援を行っている	4		2		
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議にその子どもの状況に 精通した最もふさわしい者が参画し ている	5		1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事 予定等の交換、子どもの下校時刻 の確認等)、連絡調整(送迎時の対 応、トラブル発生時の連絡)を適切 に行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校お迎え時、先生に伺っている。</li> <li>・学校やご家族お迎えの際に情報共有を行 い、連絡調整などを行っている。</li> <li>・事業所、学校、相談支援専門員と情報交 換、共有を図り、フローチャートを作成して もらい、それに添って行動する時もある。</li> </ul>	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け 入れる場合は、子どもの主治医等 と連絡体制を整えている	3		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の地域連携室とは、必要時連携が図 れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医との連携とまではいかないが、相談 から情報をもらいスタッフ間で共有している。</li> <li>・直接主治医との連絡はないが、家族等を通 して緊急時の対応について確認を取ってい る。</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼 稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めている	3		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行っている。</li> <li>・相談支援専門員をとおり、関係機関より必 要な情報提供を求めている。</li> </ul>	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサー ビス事業所から障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまで の支援内容等の情報を提供する等 している	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容などで、細かなところまで情報を 伝えている。</li> <li>・移行支援会議の出席はないが、卒後に向 けての議題では情報提供を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一法人内ではスムーズに行えるが、外部 のサービスについては依頼時説明をおこなっ ている。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害 者支援センター等の専門機関と連 携し、助言や研修を受けている	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会を通しての、相談連絡体制はある。</li> </ul>	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において中断しているが、リスク管理をしながら再開を目指す。</li> <li>・数年前よりコロナ禍となり、感染症予防対策の為にできていない。</li> <li>・感染症の状況を見ながら、地域の中で交流できるよう機会を設ける。</li> <li>・コロナ禍以前は機会があったが、現在は中止している。</li> <li>・コロナ対応時は、隣接している保育園との交流を控えてが、今後は少しずつ再開していく。</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	1	・地域の部会に所属し、専門性の向上と地域課題に向けて取り組んでいる。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎え時、細かな様子でも気になるところは伺っている。</li> <li>・送迎時ご家族と情報共有する場面がある。その際に伝えたり確認等行っている。</li> <li>・送迎時に申し送りを行い、学校、ご家庭と情報交換、共有を図っている。</li> </ul>	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	1		・必要を感じれば、相談支援専門員へ連絡する等し対応していく。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時、個別支援計画の提示の際等、都度行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		1	・悩みや相談には丁寧に対応し、必要であれば相談支援専門員とも共有し、適切な助言に努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・苦情はないが、万が一苦情があった時には、適切に対応するよう対策委員会がある。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・連絡ノート、ご家族送迎時機関誌等で情報提供を図っている。	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において中断しているが、リスク管理をしながら再開のメドを立てる必要がある。</li> <li>・感染症の状況を見ながら、地域の関りを再開する。</li> <li>・コロナ禍では交流を控えていたが、地域との交流は再開していく予定。</li> </ul>
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルは整備出来ている。緊急時は、マニュアルに基づいた対応を行う事を説明している。</li> <li>・施設内マニュアルはあるが、保護者にまでは周知されていない。コロナが5類となり情勢は変わるが、都度事業所としてどう対応するか明確にはされていない。</li> </ul>

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・長期休暇中などに参加出来るようにし、訓練を行っている。	・放課後ご利用時に災害があった場合、児童スタッフ2名のみのも事も考えられるが、入浴対応していたり、ホール対応スタッフがいない場合はどうするか、何を優先するのか等、ある程度決まりごとがあると安心できる。ホール内で、電話や内線も掛けられない事を想定すると、携帯電話は常時持っておいた方が良いと思う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・研修の参加。 ・方針の整備。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			・該当ケースはないが、必要な時は指針に基づいて対応する。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		3	・サービス利用時の情報提供等に基づき対応している。	・医師の指示書はないが、個々のアレルギー有無については把握している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・ヒヤリハットは都度起こったら検討を行い、再発防止策をねっている。	